

情報公開文書

京都大学医学部附属病院で

Pial AVF と診断された患者さん・ご家族の皆様へ

Ver. 1.1

2024 年 8 月 2 日作成

1. 研究の名称

「成人pial arteriovenous fistulaの特徴に関する全国調査（多施設共同後ろ向き研究による実態調査）」

2. 倫理審査と許可

慶應義塾大学医学部倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

慶應義塾大学医学部脳神経外科 専任講師 秋山武紀

共同研究機関 研究責任者

熊本大学医学部脳神経外科 助教 賀来泰之

久留米大学医学部放射線科 准教授 田上秀一

名古屋大学医学部脳神経外科 准教授 泉孝嗣

岡山大学医学部脳神経外科 助教 平松匡文

大阪大学医学部脳神経外科 特任助教 尾崎友彦

東京大学病院脳神経外科 助教 小泉聡

虎の門病院脳血管内治療科 部長 鶴田和太郎

東邦大学医療センター大森病院脳神経外科 講師 近藤康介

横浜市立市民病院脳血管内治療科 部長 増尾修

横浜栄共済病院脳卒中・神経センター脳神経外科 医長 森健太郎

広南病院脳神経外科 部長 坂田洋之

兵庫医科大学脳神経外科 助教 立林洸太郎

滋賀医科大学医学部附属病院 助教 設楽智史

千葉県総合救急災害医療センター脳神経外科 部長 山内利宏

九州大学医学部脳神経外科 講師 有村公一
東京慈恵会医科大学脳神経外科 講師 加藤直樹
京都大学医学部脳神経外科 講師 大川将和
筑波大学附属病院脳卒中予防治療学講座 講師 細尾久幸
広島大学医学部脳神経外科 助教 石井大造
高知大学医学部脳神経外科 准教授 福田仁
岩手県立中央病院脳神経内科 医師 滝川浩平
浜松医科大学脳神経外科 病院講師 根木宏明
国立病院機構大阪医療センター脳神経外科 副科長 浅井克則
宇部興産中央病院脳神経外科 主任部長 池田典生
総合大雄会病院脳神経外科 部長 加藤貴之
神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科 医長 福光龍
愛仁会千船病院脳神経外科 部長 榊原史啓
公立西知多総合病院脳神経外科 主任部長 森谷茂太
東京都立墨東病院脳神経外科 部長 花川一郎
新古賀病院脳卒中脳神経センター 部長 亀田勝治
帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科 教授 保谷克巳
三重大学医学部脳神経外科 医員 鈴木有芽
札幌医科大学脳神経外科 助教 高橋康弘
大阪市立総合医療センター 脳神経外科 医長 寺田愛子
名古屋市立大学医学部脳神経外科 助教 西川祐介
富山大学医学部脳神経外科 講師 秋岡直樹
広島市立広島市民病院脳神経外科・脳血管内治療科 副部長 木谷尚哉
国立循環器病研究センター脳神経外科 医長 今村博敏
山梨大学医学部脳神経外科 特任講師 橋本幸治
大分大学医学部放射線科 助教 島田隆一
前橋赤十字病院脳神経外科 副部長 吉澤将士
昭和大学藤が丘病院脳神経外科 助教 久保美奈子
金沢大学医学部脳神経外科 講師 見崎孝一
聖路加国際病院脳神経外科 医長 佐藤慎祐
老年病研究所附属病院脳神経外科 医長 宮本直子
新潟大学医歯学総合病院 特任助教 藤原秀元

4. 研究の目的・意義

Pial arteriovenous fistula (pial AVF) は、脳動脈と脳静脈が直接接続する病気です。脳を覆う軟膜の下に、高流量の動静脈のつながりができます。全ての脳血管奇形のうち、1.6-4.8%を占めると報告されている非常に稀な病気です。1,2 ほとんどの pial AVF は先天性の病気と考えられており、遺伝的な要因や胎児期の成長の異常が関与している可能性があります

が、具体的な原因はまだ明らかにされていません。一部の 경우에는、遺伝性毛細血管拡張症や Capillary-arteriovenous malformation との関連が見られます³が、遺伝子の変化の頻度や症状との関係などははっきりしていません。また、成人では後天的(生まれつきでない)に発生する pial AVF の報告もあるものの、その頻度や特徴に関するデータは限られています。この研究では、pial AVF について、臨床的な特徴や血管構築の分類、治療方法、治療の成果などに関する情報を、国内の専門医療機関で協力して収集します。症例数が非常に少ないまれな病気であるため、全国でデータをまとめ、その特徴を分析することで、医療現場で各医師が適切な検査と治療を提案できるようになり、pial AVF の診療に関する貴重な情報が提供されることが期待されます。

5. 研究実施期間

研究実施許可日～2025年12月31日

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2013年1月1日から2023年12月31日までに下記の病院を受診した pial AVF 患者の方
慶應義塾大学病院、熊本大学病院、久留米大学病院、名古屋大学病院、岡山大学病院、大阪大学病院、東京大学病院、虎の門病院、東邦大学医療センター大森病院、横浜市立市民病院、横浜栄共済病院、広南病院、兵庫医科大学、滋賀医科大学医学部附属病院、千葉県総合救急災害医療センター、九州大学病院、東京慈恵会医科大学、京都大学病院、筑波大学附属病院、広島大学病院、高知大学、岩手県立中央病院、浜松医科大学、国立病院機構大阪医療センター、宇部興産中央病院、総合大雄会病院、神戸市立医療センター中央市民病院、愛仁会千船病院、公立西知多総合病院、東京都立墨東病院、新古賀病院、帝京大学ちば総合医療センター、三重大学病院、札幌医科大学病院、大阪市立総合医療センター、名古屋市立大学病院、富山大学附属病院、広島市立広島市民病院、国立循環器病研究センター、山梨大学病院、大分大学病院、前橋赤十字病院、昭和大学藤が丘病院、金沢大学病院、聖路加国際病院、老年病研究所附属病院、新潟大学医歯学総合病院

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

本研究のデータおよびその結果の所有権は慶應義塾大学に属し研究協力者の方には属しません。ただし、研究協力者の請求に応じて他の研究対象者等の個人情報等の保護および当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書および研究の方法に関する資料を閲覧することができます。本研究のデータは完全に ID 化され慶應義塾大学医学部脳神経外科医局内のハードディスクで厳重に保管されます。研究終了後、このデータは復元不可能な状態とされハードディスクは破棄されます。本研究以外にデータが使用されることはありません。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

情報は診断名、症状、年齢、性別、手術記録、臨床転帰で画像検査は血管造影検査および治療前後の MRI、DSA で、個人情報と ID の一覧表は京都大学脳神経外科学教室にて保存されます。

9. 利用または提供を開始する予定日

京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降に提供します。

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学医学部附属病院 脳神経外科 講師 大川 将和

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

13. 研究資金・利益相反

本研究は、第40回日本脳神経血管内治療学会研究助成金を用いて行なわれます。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。また、共同研究機関においても各機関の規定に従い審査されています。

14. 研究対象者等からの相談への対応

本研究に関するご質問等、ご要望あれば下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

1) 本学の問い合わせ先

京都大学医学部 脳神経外科講座

住所：京都府京都市左京区聖護院川原町 54

電話：075-751-3459

担当者：脳神経外科講座 大川将和

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話：075-751-4748

メール：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp